

大阪情報コンピュータ専門学校 授業シラバス (2021年度)

専門分野区分	システム開発	科目名	オブジェクト指向開発				科目コード	T1281A1		
配当期	前期	授業実施形態	通常				単位数	4 単位		
担当教員名	磯貝 洋志	履修グループ	3E(SP)				授業方法	演習		
実務経験の内容	システムエンジニアとして25年間、プロジェクトの参画は30以上携わり、概要設計、基本設計、運用テスト、システムテストの上流工程、詳細設計、開発、単体テスト、結合テストの下流工程を経験し、それぞれの工程での業務経験を生かして、オブジェクト指向プログラムの考え方の基礎と実践的な演習をする									
学習一般目標	近年、オブジェクト指向を取り入れたシステム開発は支流になってきている。オブジェクト思考での開発を進めていく上で、仕様をまとめるには従来の図表では表現しにくいこともあり、意思疎通を図るためのUMLが登場することとなった。オブジェクト指向の考え方と共にこのUMLについて理解を深めていく。									
授業の概要および学習上の助言	UMLについて設計の考え方と流れを照らし合わせながら解説していく課題を通して実際にUMLの図を作成して貰おう									
教科書および参考書	教科書:UML入門									
履修に必要な予備知識や技能	・JavaやC#などの開発言語で利用されるオブジェクト指向の基礎知識(継承など)									
使用機器										
使用ソフト	設計図作成ソフト) astah(IDE)eclipse									
学習到達目標	学部DP(番号表記)	学生が到達すべき行動目標								
	1	ユースケースの特徴と目的を理解することができる								
	1/2	静的モデルの特徴と目的を理解することができる								
	1/2	静的モデルの代表例である、クラス図を作成することができる								
	1/2	動的モデルの特徴と目的を理解することができる、シーケンス図を作成することができる								
	5	講義とプログラム実習に意欲を持って取り組むことができる								
達成度評価	評価方法	試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計	
	学部DP	1.知識・理解	30	20						50
		2.思考・判断	10	10						20
		3.態度								
		4.技能・表現								
		5.関心・意欲							30	30
	総合評価割合	40	30					30	100	
評価の要点										
評価方法	評価の実施方法と注意点									
試験	定期試験期間中に試験を行う。									

小テスト	区切り毎の課題の提出状況によって判断する。
レポート	
成果発表(口頭・実技)	
作品	
ポートフォリオ	
その他	授業への出席、取り組みなどを含め総合的に判断する。

授業明細表

授業回数	学習内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)
第1回	オリエンテーション UMLとは	講義・実習	
第2回	UMLの構成と各モデルの役割	講義・実習	
第3回	ユースケース図	講義・実習	
第4回	ユースケースの詳細 ユースケースシナリオ	講義・実習	
第5回	ユースケース記述	講義・実習	
第6回	アクティビティ図	講義・実習	
第7回	クラスの抽出	講義・実習	
第8回	クラス図	講義・実習	
第9回	クラス図(継承)	講義・実習	
第10回	シーケンス図	講義・実習	
第11回	その他の図	講義・実習	
第12回	演習	講義・実習	
第13回	演習	講義・実習	
第14回	演習	講義・実習	
第15回	演習	講義・実習	